

第185回: 独臂将軍と石油派

ゆうべ微醺を帯びて帰宅し、酔眼朦朧としたまま鄧小平の三女の毛毛(鄧榕)が書いた【わが父鄧小平・文革歲月(中央公論新社)】を探したのだが、いくら探しても見つからない。わが狭い書齋は本や雑誌で溢れかえっており、手に負えそうもないので途中で探すのを諦めた。翻訳者の先生に北海道まで電話を掛けて内容を聞くのも申し訳ないので、記憶を頼りに書くことにする。大筋は間違っていないだろう、たぶん。

毛沢東が亡くなったのが1976年9月9日のこと。それから一カ月後の10月6日、江張王姚の四人組が逮捕され、10年の長きにわたり中国全土に吹き荒れた破壊と混乱の文化大革命が終結する。当時72歳の鄧小平は(第一次)天安門事件の責任を問われ、人生で三度目の失脚に追い込まれ自宅監禁の身であった。四人組逮捕はその残党掃討の関係で極秘裏に実行されたが、江青夫人や張春橋たちが身柄を拘束されたという噂は一気に広まり、翌日鄧小平の娘婿の賀平(当時30歳、後に保利集团董事长)が朗報伝達のため自転車を必死に漕いで鄧小平の家に駆けつけた。当時鄧小平宅には盗聴器が仕掛けられていたため、家族全員がこっそり風呂場に集まり、シャワーを出しっぱなしにして小声で逮捕情報を伝えたと言う。

四人組が逮捕されたあと華国鋒政権が正式に発足するが、鄧小平の自宅軟禁はなかなか解けなかった。その年の12月、鄧小平は前立腺炎治療のため、解放軍301病院に入院する。軟禁状況を確保するためにフロア全体が鄧小平に提供され、一般の入院患者や見舞客は近づけないようにされたため、鄧小平一家はそれを奇貨として、住み心地の良い病院に移り住んだ。当時人民日報が鄧小平批判を継続していたころのことである。そんなある日、白髪で精悍な表情の老人が「見舞いに来て何が悪い、ワシはやって来たぞ!」と叫びながら部屋に飛び込んで来た。病室の周辺には数多くの警備兵が配置されていたが、老人の隻腕を見て一目で彼が誰か察知したらしく、彼の入室を阻止する勇気のある衛兵はいなかったようだ。人民解放軍の三大隻腕将軍として名高い余秋里中将(当時62歳)、文化大革命で打撃を受けたものの、運よく職務は奪われずに済み、当時は副首相として計画経済の総元締め地位にあった。

久しぶりの来客に鄧小平の娘たちは一斉に「余叔父さん」に駆け寄り、四人組逮捕の状況等を尋ねたと云う。久しぶりの心温まる交流のなかで、鄧小平の娘が「四人組逮捕の伝達を受けた会議の席で、おじさん一人が拍手しなかったってホント?」と冗談を飛ばした。余秋里は大笑いしながら「あいつら、ワシをからかい面白がっている。片手では拍手できないので、ワシは右手で机を叩いて拍手したぞ」、と応じ一同の爆笑を誘ったと云う。日本ではとても許されない性質の悪いジョークだが、余秋里と鄧小平一族はこんな際どい会話が交わせるくらい親しい間柄にあったのである。

中国は党が軍を指導するシステムとなっているが、新中国を創ったのは、紛れもなく人民解放軍である。建国当初の指導者はほぼ全員が軍人であり、そのなかで周恩来や鄧小平、陳毅のように万事器用な人物が経済や外交を担当し、号令をかけたり鉄砲を撃ったりする能力しかない人物が解放軍に残った。余秋里中将は器用な部類の人物であったらしく、建国後に初代の石油工業部長に就任し、いま中国で習近平が進めている不正腐敗摘発キャンペーンの標的となっている「石油派」の開祖となった。中国においてもう一つのエネルギー資源である石炭はむかしから豊富に産出されており、特に遼寧省では撫順炭鉱と、日露戦争

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

のとき日本軍の斥候兵によりコンパスが狂う一帯として発見された鞍山鉱山が合体した昭和製鋼所(いまの鞍山製鉄)という巨大な経済基盤があった。一方石油は建国後に中国が自力更生で開発し大慶油田、勝利油田の掘削が成功したお陰で当時の中国で唯一外貨が稼げる貴重な資源となった。その功労者が余秋里であり、爾来彼を頂点とする石油派が国内で大きく勢力を拡大した所以である。

その余秋里が三度目の復活を遂げた鄧小平の下で国家計画委員会主任を勤めていたとき、同郷の戦友の息子を、その母親の頼みで秘書官に採用した。父親が曾山(後に内務部長)、母親が鄧六金(抗日戦争時代の延安の保育園長)という「父母共に长征経験者」という最高の血統を継ぐ太子党として、後に胡錦濤最大のライバルとなり、いまでも政界に隠然たる影響力を持つ曾慶紅(当時40歳、後に政治局常務委員・国家副主席)の出世街道の始まりである。彼は余秋里の秘書を兼務したまま国家エネルギー委員会弁公庁に配属されたが、その後82年に余秋里が鄧小平の指令で解放軍の左派勢力一掃のため、現役復帰して総政治部主任に転出すると、余秋里は経済畑を進みたい曾慶紅の願いを聞き入れ、自分の影響下にある新設の中国海洋石油公司(いまの CNOOC)に入社させる。同社の外事部門で活躍した彼はその後、石油工業部外事局の副局長に昇格し、これが曾慶紅の政治家としてのチャンス到来となる。まもなく彼は上海市の党組織部副部長に就任し、更に運の良いことに85年に江沢民が上海市長として着任すると、曾慶紅は江沢民の懐刀として出世街道を驀進し、遂には胡錦濤と天下を争う大物にまで成長する。

その曾慶紅が石油工業部時代に抜擢した石油技師が、いま石油派の首領として、薄熙来事件の黒幕と噂される周永康(前政治局常務委員)である。曾慶紅は太子党のリーダーとして、鄧小平・余秋里の庇護を受けて成長し、飛ぶ鳥を落とす勢いの曾慶紅の元には石油派から周永康をはじめとする財界要人、太子党からは習近平、薄熙来たちが集結し、胡錦濤率いる共青团に匹敵する集団が形成されることになる。

最終的に曾慶紅は胡錦濤政権の二期目に、定年年齢に達していないにも拘わらず、余力を保ったままで潔く引退する。人口に膾炙された説によると、曾慶紅は引退する見返りに、習近平を二段階飛びさせ政治局常務委員にするよう江沢民と共に強く進言し、常務委員の序列を習近平(6位)、李克強(7位)とすることに成功する。これが習近平政権誕生の基礎となったという。曾慶紅は引退の見返りにキングメーカーを果たしたことになる。中国の政治は複雑で、習近平が「虎も蠅も退治する」と宣言した標的が石油派に向けられているのは事実だが、石油派を取り巻く幅広い関係当事者のなかには、自分の恩師の曾慶紅も、そのボスの江沢民も、更にその上のボスの鄧小平も、そして自分自身も含まれているのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年9月10日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。